

## 日本初、ご当地麺のフードテーマパーク 「大阪ヌードルシティ～浪花麺だらけ～」が 「なんばパークス」に10月7日(火)オープン！



株式会社ナムコ（本社：東京大田区 社長：高木九四郎）と南海電気鉄道株式会社（本社：大阪府中央区 社長：山中 諄）は、両社の共同事業として、日本初の“ご当地麺”をテーマとしたフードテーマパーク「大阪ヌードルシティ～浪花麺だらけ～」を、10月7日（火）に開業する「なんばパークス」7階部分1,270㎡（約384坪）にオープンします。本施設は、初年度入場者数150万人、初年度売上14億円を見込んでおります。

「大阪ヌードルシティ～浪花麺だらけ～」のオープンにより「なんばパークス」全体へ話題性と集客力の波及効果を図ります。

南海電気鉄道では、“未来都市なにわ新都”をコンセプトとした「なんばパークス」を開発するにあたり、全体への集客貢献を図る戦略施設として、近年最も話題性と集客力を持つ「フードテーマパーク」業態に注目していました。そこで、これまで手掛けたすべてのフードテーマパークの年間入場者が100万人を超える集客実績と開発ノウハウを持つナムコと共同で「大阪ヌードルシティ～浪花麺だらけ～」を開発しました。

ナムコでは、「なんばパークス」のコンセプトである“未来都市なにわ新都”の実現に相応しいオンリーワン施設として、“ご当地麺”をテーマとした「大阪ヌードルシティ～浪花麺だらけ～」を提案し、プロデュース（企画設計・施工）を行いました。併せて、継続した話題創出と鮮度維持の重要性を両者が認識したため、今回、ナムコがフードテーマパークの運営で蓄積してきたノウハウを生かし、プロデュース業務を受注した施設としては初めて運營業務についても担当します。

「大阪ヌードルシティ～浪花麺だらけ～」は、日本各地において、地域の歴史や風土に育まれ独自の“ご当地麺文化”を形成している、うどん、そば、ラーメン等の“ご当地麺”の魅力にスポットを当てました。地域固有の“超地域限定”であるがゆえに、まだ広く紹介されず埋もれた存在である“ご当地麺”を、多くのお客様に美味しく楽しく味わっていただくため、“ご当地麺食文化”の発信拠点として、ここに提案するものです。

## 「大阪ヌードルシティ～浪花麺だらけ～」施設概要

「大阪ヌードルシティ～浪花麺だらけ～」は、“ご当地麺の殿堂”をテーマに、北海道から九州までの選りすぐりの“ご当地麺”の名店10店舗を集結します。さらに、ご当地麺を数百種類集めた日本初のミュージアムショップ1店舗を加え、全店関西初出店での合計11店舗で構成します。環境演出は、なんばの都市に隆起したキャニオン（峡谷）をイメージした「なんばパークス」の奥に、神秘的な“ご当地麺の殿堂”が発掘されたという設定で、魅力ある環境の中で、本物の“ご当地麺”を味わっていただきます。

- 【施設業態】 “ご当地麺”のフードテーマパーク
- 【施設名称】 「大阪ヌードルシティ～浪花麺だらけ～」  
(英文表記:「Osaka Noodlecity “Naniwa Mendarake”」)
- 【テーマ】 “ご当地麺の殿堂”
- 【事業主体】 株式会社ナムコ、南海電気鉄道株式会社
- 【運営主体】 株式会社ナムコ「チームナンジャ」
- 【開設時期】 2003年10月7日(火曜日)
- 【開設場所】 「なんばパークス」 Shops&Diners  
エンターテインメント・レストランフロア 7階
- 【所在地】 〒556-0011 大阪市浪速区難波中2丁目10番70号「なんばパークス」内
- 【施設面積】 1,270㎡(約384坪)
- 【施設構成】 “ご当地麺”店舗10店舗、“ご当地麺”物販店1店舗、計11店舗
- 【全席数】 265席
- 【営業時間】 11:00～23:00 季節等により変更あり
- 【入場料】 無料
- 【定休日】 1月1日、2月・8月第3水曜日 「なんばパークス」に準ずる
- 【入場者数】 150万人(初年度見込み)
- 【売上】 14億円(初年度見込み)
- 【設計・施工】 株式会社ナムコ「チームナンジャ」
- 【企画監修】 ご当地麺研究家 はんつ遠藤氏